



信州うえだ東京の集い

協賛 一般社団法人 信州上田観光協会 別所温泉観光協会 菅平高原観光協会 鹿教湯温泉観光協会 武石観光協会

鬼丸師匠の落語とうたごえを楽しむ 映画「シンペイ」ダイジェスト版を上映 115人が参加して和やかに

「信州うえだ東京の集い」は10月4日（金）台東区の浅草ビューホテルで開催され、土屋陽一上田市長はじめ、ご来賓、会員115人が集い和やかに盛大に行われた。

昨年は午後4時開会だったが今年では会場の都合で4時半から、水野美代子副会長と、理事の関根澄子さんの司会で始まった。砂子澤敏子実行委員長とのあいさつ後、第1部は落語家・三遊亭鬼丸師匠がくずや清兵衛の「井戸の茶碗」を演じた。第2部は5時20分から、今年の6月に第4代会長に就任した倉沢裕会長は「今年で設立29周年、30周年は盛大に行いたい。本日のプログラムは盛りだくさんですが楽しく懇談していただきたい」とあいさつ。当会顧問の松倉久幸東洋興行会長は「大変喜ばしい。信州上田をこれからも盛り上げてほしい」と力強く「開会宣言」。

続いて来賓のごあいさつに移り、土屋市長は「今まで会長をされた山寄さんには東京と上田で昼の部、夜の部と大変ご指導いただき感謝します。東京に住んでいても上田への熱き心をありがたく思っている。練馬区と30年の交流があり、練馬ベースの物産館は前川区長のご尽力で石神井駅から江古田駅に

移り10月6日、再オープンする。水曜日は高速バスで野菜などを運ぶ。11月2-4日で上田城紅葉まつりと上田真田まつりが開催される。ふるさと寄付金もよろしくお願

いしたい」と話された。堀内健一商工会議所会頭は「昨年

に続き2回目。昨年よりコロナの影響は良くなってきた。8月5日の上田大花火大会は過去にない多くのお客様で盛大に行われた。感謝しています。映画「シンペイ」の完成披露が9月16日に行われ山寄さん倉沢さんにお越しいただいた。チケットの販売数で盛り上がった。明日あ

さっては城址公園で焼き鳥ジャパンが行われる。いろいろな機会を利用して信州上田をPRしていきたい」と抱負を述べた。眞島実J A組合長は「本年は自然災害もなく生育は順調で夏場の猛暑はあったもののブドウは糖度が高い。10月からりんごは秋映、シナノスイート、ゴールド、11月のふじと量的にも確保できそう。お米は9月からコシヒカリの収穫が始まり10月末には最盛期を迎える。心配なく食べてほしい。

近年は円安で資材高騰などあるが適正な農産物を確保したい。食料の国消、国産運動にご協力を」と訴えた。

池田総一郎上田市議会議長の音頭で乾杯をして懇談に移った。途中で井出庸生衆院議員のあいさつがあった。

懇親会は高田馬場にある「歌声喫茶ともしび」から4人を迎え、アコーディオン、ギターの伴奏で「いつでも夢を」や中山晋平作曲の「ゴンドラの唄」「砂山」などを全員で歌った。

続いて映画「シンペイ 歌こそすべて」を企画・プロデュースした新田博邦さんが完成までの歩みを紹介、ゼネラルプロデューサーの柳澤憲一郎さんとエグゼクティブプロデューサーの丸山和敏さんらが登壇し、母親役で出演した土屋貴子さんがあいさつした。新田さんのご好意で映画のダイジェスト版を上映した。映画に歌手佐藤千夜子役で出演したジャズ歌手の真由子さん（俳優故津川雅彦の一人娘）が「テネシーワルツ」を披露した。

最後に全員で「信濃の国」を合唱し、来年の当番校・上田東高校OBの市川勝彦副会長が「来年も盛大にやりましょう」と締めくくった。



土屋市長



堀内会頭



眞島組合長



松倉顧問



左から土屋さん、新田さん、柳澤さん、丸山さん



落語に聞き入る参加者



左から司会の関根さん、砂子澤実行委員長、水野さん



鬼丸師匠の熱演



歌声喫茶「ともしび」のメンバー



真由子さん熱唱



左: 「シンペイ」 上映

下: 上田の地酒



中澤公子さんのリードで信濃の国合唱